

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

# 三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

## ■コミュニティだより

VOL. 56 (年4回発行)

■発行日 平成22年 3月31日  
■発行 三春まちづくり協会  
■編集 三春まちづくり協会広報部会  
三春町字大町178 (旧公民館内)  
TEL/FAX (62) 3988

## 三春町における これからのまちづくり

### — 鈴木町長との懇談会から —

三月十日、三春まちづくり協会主催第二十四回定期出前懇談会が開催されました。平成二十年四月から始まったこの出前懇談会も今回で二年、二十四回になることから、鈴木義孝町長をお招きしての懇談会となりました。

「三春町におけるこれからのまちづくり」と題した町長のお話の中で、現在三春町が進めている事業やこれからの課題など十項目に亘って説明があり、その後会場に集まった町民からの質問にも答えていただき、約二時間の懇談会となりました。

鈴木町長の説明要旨は次の通りです。

① 三春町に「住みたい」「任んでよかった」と思われるように、町に潜在している資源を見つめ直し、まちの歴史・文化、豊かな自然環境や特性を活かしながら、知恵と工夫と協働により、魅力あるまちづくりを推進する。

② 町民と行政がともに知恵を出し合い、協働しながらまちづくりの指針である「第6次三春町長期計画」を推進する。

③ 期間は平成十八年度から二十七年までの十年間。基本理念は「安全安心なまち・自主自立のまち・継続発展するまち」。二十二年度は中間の五年目にあたるので検証をしっかりと行い、今後の取り組みに活かす。

④ 行政改革を進め、町財政の健全化を図る。資料「普通会計 地方債発行額、地方債現在高、財政調整基金現在高の推移」により説明。人口の減少に伴い、経済力、地域力は落ちていく。次世代の負担を軽くするためにも、財政基盤をより強固にしていきたい。

⑤ 新三春中学校建設について 基本計画を作成し、各地区で懇談会を実施した。教育委員会が整理し、二十二年四月の設計に着手し、二十五年度の開校を目指している。通学バスは六台を予定しているが、コースやバス停はこれから検討する。

⑥ 少子化対策子育て支援の拡充について 十九年度に職員によるプロジェクトチームを作り検討した。それを一〇項目にまとめ、二〇年度から予算付けをした。二十一年十月からは小学六年生までの医療費無料化などを実施している。

⑦ 町立三春病院を核とした医療・保健・福祉の充実について 三春病院は今年度黒字の見通しとなった。引き続き町民の健康づくりにも三春病院を活用していきたい。敬老園も完成し、利用が始まった。

⑧ 桜川河川改修 (継続) について 国、県の事業として進めている。町では代替地の確保に取り組んでいる。

⑨ 城山公園整備と三春の秋の創出 通年型観光をめぐり、澗桜という資源を活かし

てまちなか観光にも取り組む。現在城山公園の整備を進めており、雑木を整理し、アジサイ、もみじなどの植樹を行っている。ダムサイトのみみじ山公園整備も三年目になった。春は桜、夏はアジサイ、秋はもみじなど通年観光を目指す。

⑩ 農業・商業・工業の振興について 遊休地解消、企業の農業参入などを進めている。後継者問題も深刻。商業も農業以上に厳しい現状。二〇歳代、三〇歳代の町からの転出が多く、若い人の地元定着が課題。

⑪ 中心市街地活性化とヨークベニマル移転について 紆余曲折があったが、二十三年度中の開店に向けて進んでいる。

⑫ 企業誘致対策について 自治体間の熾烈な競争がある。固定資産税の免除など企業誘致のための対策もとっている。

⑬ その他に、目黒区との交流促進についてと「アブラカサスの祭」映画公開についても説明がありました。

### 会場からの質問

Q. ライスレイクの家が利用しにくくなっている。管理運営の問題はないのか。指定管理者は固定されているのか。  
A. 指定管理者として三春町国際交流協会に委託し

ている。利用者が減っているらしいという事は町でも承知している。町では生涯学習課が担当しアドバイスしている。指定管理者は公募により決定し、期間は三年から五年となっている。

Q. 新年度の予算の中で中心市街地に千七百万円計上されているがどんな内容か。  
A. お城山整備や、北町荒町線の調査などを予定している。

Q. 「千年の会」の動きはその後どうなっているか。  
A. 昨年の四月、三春で発足した。二年目は屋久島で開催した。著名人が顧問になるなど、応援の動きが全国に広がっている。

Q. 小浜海道の曙ブレイキ寮跡地はどうなるのか。  
A. グループホームができる予定である。

Q. 今後もそうした施設は増えるのか。  
A. 南原の敬老園跡地に小規模多機能型特別養護老人ホームを予定している。三春町民だけが入れる施設となる見込みである。今後も介護認定のデータなどから需要を調査しながら進めていく。

Q. 統合後の三春中学校跡地を福祉施設として利用してはどうか。  
A. 地区の皆さんと協議しながら考えたい。また三

春町の今後の大きな課題として医療費軽減につながる「町民の健康づくり」に取り組んでいくというお話があり、閉会となりました。

### 第25回定期出前懇談会

と き ■ 4月14日 (水)  
午後7時から  
と ころ ■ 三春交流館  
ホワイエ  
テ ーマ ■ 「三春町町民自治基本条例」を学ぼう

年あるので、早急に進めるといふことはない。福祉施設という提案も理解できる。



Q. 下水道は接続率も低く、当初の計画からだいぶ遅れていると思われるが、どうなっているのか。  
A. 町では戸別訪問などの対策をとっている。一方で合併浄化槽に対する補助も継続している。中学校統合に伴ない、関係地域には下水道に関するアンケート調査をした。

### 「町民と議会が協働する まちづくりをめざして！」

#### ― 地区内在住町会議員との懇談会レポート① ―

二月一日、定例出前懇談会として「地区内在住町会議員との懇談会」が開催されました。

テーマは、『三春町町民自治基本条例』（以下、「町民自治基本条例」と略す）に規定されている「議会の責務」と、新たに設置された「議員定数適正化等特別委員会」についてでした。

議員方が公務の都合で出席議員が少なく（三名途中参加）十分な懇談会とはなりませんでしたが、

町民と議会のあり方は、協働のまちづくりをめざす協会の事業活動と密接に関係があり、今後も継続して取り組むこととなります。

今回は、懇談会のテーマとまちづくり協会事業活動との関わり、懇談会模様の特微的な内容について概要的に取りまとめレポートします。また、紙面の関係上、発言内容を要約して掲載しますので、あらかじめお断り致します。

#### 【町民総意の把握について】

○テーマを選んだ理由  
「町民自治基本条例」には、町民と議会と町が協働によりまちづくりを進めることを基本原則（第三条）に規定しています。

まちづくり協会は、創設以来行政との協働により、

多くの事業活動を進めてきました。しかし、議会との協働という点では五年前から「地区内在住町会議員との懇談会」以外具体的な活動はありません。これから、町民・議会・町が三位一体となった協働のまちづくりが求められることとなります。特に、議会との協働は、まちづくりの政策が審議・決定される過程でもあり重要なことと考えテーマとしました。

#### ○町民総意の把握

議会での決議は、すべて町民の総意とみなし取り扱われます。従って、議会の意思決定と町民総意の乖離をできるだけ少なくするため「町民自治基本条例」第一三条（議会の責務）で『議会は、…町民総意の把握に努力する…』と規定しています。

町民と議会との協働のまちづくりを考えるとき、議会（議員）が、どのように町民の総意を把握するか、あるいは把握しようとするのかを理解できれば、そこに自分たちの意思を積極的に反映させ、情報の共有化をすることが協働のはじまりであると考えました。

懇談会の発言内容及び『議員定数適正化特別委員会』のテーマについては、次回以降の続報とします。

## 協会活動だより

### 合同部会開催

活動の総括と  
次年度への課題検討

三月十一日、まほら和室において合同部会を開催し、平成二十一年度の部会活動の反省や評価などの総括を行いました。



### アジサイ植樹

二年目を迎えた  
お城山へのアジサイ植え

三月十三日、昨年に行っていた二回目のアジサイ植樹作業がお城山公園で行われました。町が進める城山公園整備事業に三春まちづくり協議会が、協働するまちづくりの一つとして協賛し実施しているもので、三春まちづくり協会からも一五名が参加しました。

午前九時、福島県森林環境税の活用で進められた城山公園整備により、眺望や景観が一段と良くなったお城山へ、県職員及び町外のボランティアの方々、町内関係各団体の参加者や町職員の有志など約一三〇名が集まりました。鈴木町長のあいさつを受けた後、もみじ苗木約三〇本、アジサイ苗木約千三百本を手分けして、それぞれ受け持ちエリアに植樹を行いました。



### 福祉部会

地域の健康・家庭の健康は  
自分の健康づくりから！

福祉部会では「かつさい教授と健康づくり」（7月9日、3月25日交流館まほらで実施）の企画、「健康教室」（保険センター主催・佐久間能生子さん指導）への参加呼びかけなどの活動を行っています。



この健康の課題は、増大する町の医療費負担という行政の問題だけでなく、「元気で健やかに暮らす」という生活の根本であり、地域の健康・家庭の健康は自分の健康づくりにあるという福祉部会活動の基本でもあります。

### 地域部会

桜谷・不動山・紫雲寺  
散策路踏査を実施！

地域部会では、春の観光シーズンを前に桜谷・不動山・紫雲寺の散策路の現状を調査、確認する踏査を行いました。

調査結果については、部会で対応策の検討を行い、町・観光協会等と協議し改善を進める予定です。

### 街並部会

石柱、新たに二基設置！

街並部会では、これまで町内に伝わる地名の古称や由来等を標した石柱の設置を進めてきました。平成二十一年度も既設の二五基に加え、新たに二基設置しました。

#### 【八十内（やそうち）】

○国道二八八号バイパス桜ヶ丘地内（八十内公園入り口）

・三春藩筆頭家老荒木家の下屋敷があり、近年に入り、弓町新地の遊廓二葉楼の白い洋風の別館があった。

#### 【尼ヶ谷（あまがや）】

○尼ヶ谷地内（大内敏嗣さん敷地）

・馬場と尼ヶ谷の狭い谷間の路地に小さな尼寺があったといわれている。



## 編集後記

変わり続ける世相の中で、あれから半年も経つのに、嬉しい余韻のお話。立場上私は、毎日全国各地からの県外人に三十人以上はお会いしている。彼の人達の好感度随一の三春礼賛が昨年十月のNHKテレビ「鶴瓶の家族に乾杯」である。周知の通り、取材で徳光さん鶴瓶さんが8月に三春を訪れ見事な番組が放映されました。鶴瓶さん達の手慣れた誘導も功を奏し、客人達の褒めるのは……三春小学生達の素直さ。元気で明るい爺さん婆さん。温かいお寺は徳光さんの心のふるりの疎開先。五人目を身籠る嫁さん。景色も街も美しい。中でも田村高校の校歌合唱が大好評。人なつこく、どの家も「お上がんばるしよ」と家の中に招き入れ持て成す。これが絶賛的なのです。以後同番組を見ても、めったにスタッフを家に入れてはくれない。

町民の鷹揚さ、信仰心の篤さなど三春人の心の資質の高さがアピールされ、全国の人々に感動を与えた三春を誇りに思います。いよいよ桜季、テレビ効果でどっと押し寄せるお客さまの期待を裏切ることなく、心を込めてお持て成しをしたいと思います。（村田）

コミュニティだより  
「三春わが街」第五十六号  
発行日 平成二十二年三月三十一日  
発行 三春まちづくり協会  
編集 三春まちづくり協会  
広 報 部 会  
三春町字大町一七八  
(六二) 三九八八